

テーマ

景気を測る

適用分野

景気指数の開発, 景気判断



研究名称

月次と四半期系列を用いた月次実質GDPとGDPギャップの推定, 地域別の景気水準指数とギャップ指数開発

氏名 所属

村澤康友 教授
経済学部 経済学科

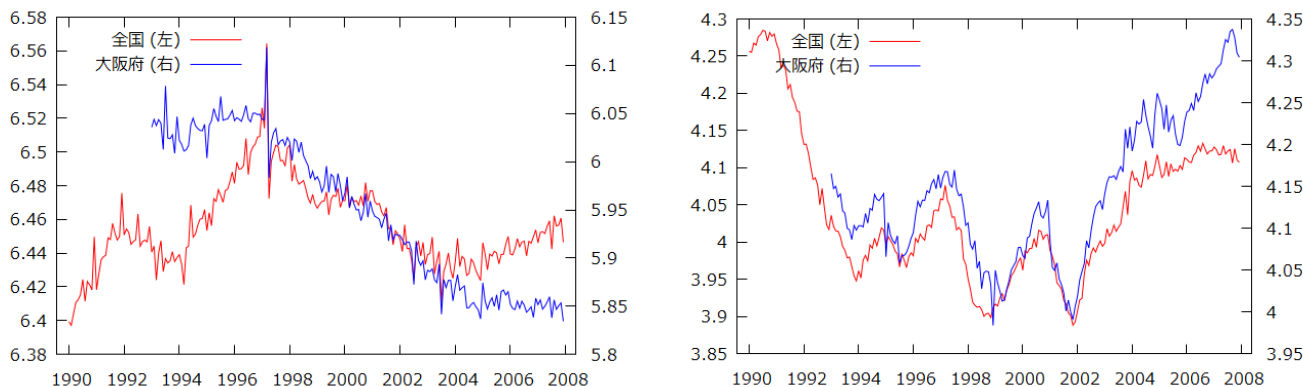
内容

●特徴： 景気の局面を正しく判断するために、まず「景気」を明確に定義し、その定義に基づいて「景気」を表す変数の推定や、その代理変数としての景気指数の作成を行う。

●研究内容： まず景気を「実質GDP」と定義する。そして実質GDPの原系列の循環を「古典的循環」、トレンドを除去した系列（GDPギャップ）の循環を「成長循環」、実質GDPの変化率の系列の循環を、

「成長率循環」と定義する。月次で景気を測るには、「月次実質GDP」を推定するか、その代理変数の景気水準指数を作成する。「成長循環」を測るには、「GDPギャップ」を推定するか、その代理変数のギャップ指数を作成する。それらの系列から景気の局面や転換点を推定・予測する。次の図は全国と大阪府の景気水準指数とギャップ指数を作成した例である。2つの指数の動きは大きく異なり、全国と大阪府の動きにも違いがある。

図 全国と大阪府の景気水準指数（左）とギャップ指数（右）



(出所) 村澤康友「地域景気動向指数の可能性」, 『日経研月報』, 2009年5月号, 16-22頁, 2009

研究室URL : <http://ymurasawa.web.fc2.com/>

キーワード

景気指数, 月次GDP, GDPギャップ

連携方法

- 講演
- 研修
- 研究相談
- 学術調査
- コメント
- 共同研究